

# 職務経歴書（池田和人）



## 1. 池田和人技術士事務所の事業内容

池田和人技術士事務所がお役に立てる業務形態および専門分野をお伝えします。

同事務所代表の池田和人は、総合技術監理部門・化学部門の技術士です。

同事務所は、池田和人代表が個人事業主として運営している事務所です。

同事務所は三重県四日市市の近鉄四日市駅の近くにございますが、広く国内外での業務が可能です。

### 【業務形態】

- (1) 企業・団体様の技術顧問として、技術経営の立場から中長期的に収益拡大や人材育成のお手伝いを致します。
- (2) 企業・団体様に技術コンサルタントとしてお伺いし、困っている技術課題や経営課題の解決策を提案致します。
- (3) 企業・団体様に直接お伺いし、またはウェブにて、社員の皆様方のためのセミナー講師を務めます。
- (4) 大学などの教育機関にお伺いし、重厚長大な化学産業の世界や池田和人のケミカルエンジニアとして海外経験などを若者に伝え、若者に将来の夢や野望を抱いていただきます。
- (5) 技術・経営に関する書籍や雑誌の執筆を行います。

### 【池田和人技術士事務所の仕事の仕方と人材育成】

- (1) 池田和人技術士事務所の人材育成には、『演繹法』の論理が採用されます。日本社会では、『小さな仕事を繰り返すうちに市場経済と会社の目的がわかってくる』という帰納法が採用されていますが、弊事務所は、『市場経済と会社の目的を教えるから小さな仕事に取り組んでいただく』という演繹法を採用します。
- (2) 技術屋も事務屋も、明るい未来を見据えて、目標を見失わず、大局的な視点でスマートに業務をこなすことが求められます。そして、社員の皆様方の根底に潜む価値観は、数字では測れませんが、会社の持続的成長の度合いに大きく影響します。ここに池田和人代表が有する豊富な知見を活かすことができます。
- (3) 人間の右脳はひらめきやイメージ作りを司り、人間の左脳は計画や論理思考を司ります。人間が育つためには、左脳の方でじっくり時間をかけて業務を進めることも重要ですが、いつもと異なる環境から右脳が刺激を受けることも重要です。日常の職場に池田和人技術士がお邪魔し、社員の皆様方の右脳を刺激することにより、社員の皆様方の価値観創造のお手伝いをすることができます。社員の皆様方に、『あの時の経験』を提供致します。
- (4) 若者たちが守備型の人間関係を克服し、チームワークで仕事を前進させるための方策として、「プロジェクトの創設」があります。部門を超えたプロジェクト員たちが、ホワイトボードを前に本音で技術論を展開し、価値ある友人関係を築いたならば、その人たちが将来大きな利益を生み出してくれるかもしれません。池田和人技術士は、人を豊かに育てながら、自らも仕事を行います。池田和人技術士事務所の理想は、『仕事が成就した時、知らぬ間に人が育っていた』という姿です。若手のご本人がその価値に気付くのは、会社の要職に就かれる遠い将来かもしれません。
- (5) カーボンニュートラルもデジタル化も、実行するのは「人」です。社会の進化により、仕事はモノが実行するように思われがちですが、そのモノを導入し利用するのは人です。人が育てば社会が育ち、そして国が育って歴史となります。池田和人技術士は、仕事をしながら人を豊かに育てます。

## [専門分野]

- (1) 技術経営全般(技術顧問・技術経営コンサルタント)
- (2) プロジェクトマネジメント、投資判断(設備投資、M&A)
- (3) プラント・設備の基本設計、工場・プラントの生産技術、生産性向上、コストダウン
- (4) リスク管理・危機管理、リスクアセスメント (HAZOP/FMEA/FTA/ETA/LOPA)、BCP (Business Continuity Planning)/BCM(Business Continuity Management)
- (5) 品質改善、環境改善、その他技術(化学装置/環境装置/省エネルギー)
- (6) 人材育成、技術者育成、若手育成

## [対象とするお客様]

企業・団体様向けの技術指導・経営指導につきましては、大手企業様から中小企業様まで様々です。また、企業様の業種は製造業が主ですが、技術がわかる者として、金融機関様の融資先や投資先の経営改善のお手伝いもできます。講師や執筆につきましては、大学、その他教育機関様、出版会社様、セミナー会社様が弊事務所のお客様になります。

## [池田和人技術士の経歴概要]

- 同事務所代表の池田和人技術士は、日本で最高位の技術者の国家資格である技術士(PE, Jp)の資格を持っています。彼の技術士資格の部門は、総合技術監理部門と化学部門です。彼は、技術士の国家資格以外に、エネルギー管理士、公害防止管理者(大気 I 種)、高圧ガス保安管理者 (甲種化学)、高圧ガス保安管理者 (甲種機械)、危険物取扱主任者 (甲種)の国家資格も持っています。
- 彼は、1992 年に日本の大阪府立大学(現在の大阪公立大学)大学院 工学研究科 博士前期過程 化学工学専攻(工学修士)を修了した後、プロセス開発、プラント設計、生産技術、プロジェクト業務、技術ライセンス等の分野で 32 年の実務経験を積みました。
- 彼は、現在、池田和人技術士事務所の代表、国立大学法人三重大学と大阪公立大学の非常勤講師、公益社団法人日本技術士会の中部本部副部長・化学部会副部会長、大阪公立大学 百舌鳥化工会 会長を務めています。
- 彼は、同大学院を修了した後、JSR 株式会社(旧日本合成ゴム株式会社)に入社し、ケミカルエンジニアとして 29 年間勤務しました。そして、2021 年 10 月から有限会社 ETIC で合成ゴム(S-SBR)のプラント技術の海外ライセンスに半年間関与した後、池田和人技術士事務所を開業し、現在に至っています。
- 彼は、JSR 株式会社で、合成ゴム(S-SBR・IR)、透明樹脂(シクロオレフィン系)、熱可塑性エラストマー(SBS・SIS)、半導体材料(フォトレジスト等)、液晶ディスプレイ材料、光ファイバーコーティング材料などの国内・海外のプラント建設プロジェクトを多数経験し、有限会社 ETIC でも S-SBR の海外ライセンスプロジェクトを経験しました。彼は、現在、これらのプロジェクト業務で培った能力を使って、企業指導、大学講師、セミナー講師、書籍・雑誌の執筆に尽力しています。

## [お客様とのエピソード]

名のある大手企業様で新製品の上市に対するリスクアセスメント手法を指導したことがあります。この契約は技術コンサルタント契約で、企業様からの情報をもとに池田和人技術士が最初にリスクアセスメント手法を企業様に提示し、若手のご担当者様と数回の打合せをしながらブラッシュアップした後、その企業様にお伺いして会議を催し、新製品の上市に対するリスクアセスメント手法を伝授しました。その会議には、複数の部門のベテランから若手までの数人の方々が参席され、議論が弾みました。そして、その議論により、さらにレベルの高いリスクアセスメント手法が完成しました。技術も、結局は人が創ります。この仕事は、異分野の人間による知見の融合の大切さがわかる事例です。一方、担当された若手の方は、非常に有能な方で、今回の仕事を通じて自己の成長を一層感じてくれたのではないかと思います。

## 2. 業務実績

### 【プロジェクト】

半導体材料プラント（ArF レジスト、KrF レジスト、ポジレジスト、多層材料など）	Feasibility Study 設計・建設	三重県四日市市 (JSR 株式会社)
液晶ディスプレイ材料プラント（着色レジスト、配向膜、保護膜、スペーサー材料など）	Feasibility Study 設計・建設	佐賀県佐賀市 (JSR 株式会社)
韓国法人設立プロジェクト (着色レジスト、保護膜、スペーサー材料)	Feasibility Study 設計・建設・製造統括	韓国 忠清北道 (JSR 株式会社) (JSR Micro Korea Co., Ltd.)
熱回収とバイナリー発電設備導入	Feasibility Study	三重県四日市市 (JSR 株式会社)
溶液重合ゴムプラント：S-SBR	技術ライセンス	タイ (JSR 株式会社) (JSR BST Elastomer Co., Ltd. (JBE))
溶液重合ゴムプラント：S-SBR	技術ライセンス	ハンガリー (JSR 株式会社:一部のみ) (JSR MOL Synthetic Rubber Ltd. (JMSR))
溶液重合ゴムプラント：S-SBR	技術ライセンス	中国 (有限会社 ETIC/ドイツ企業) (中国 大手化学メーカー向け)
液晶ディスプレイ材料 (着色レジスト)	技術ライセンス (Feasibility Study)	台湾 (JSR 株式会社) (台湾 大手化学メーカー)
マイクロチャンネルリアクターによる ジエン系の熱分解	ラボ検討のみ	三重県四日市市 (with 米国) (JSR 株式会社)
半導体材料の重合プラント(ポジレジスト)	ASPEN シミュレーション	米国 ボストン (JSR 株式会社) (米国 AspenTech 社)
耐熱透明樹脂プラント（環状オレフィン系）	設備改良検討	千葉県市原市 (JSR 株式会社)
金型成形のエネルギー効率向上	技術指導	愛知県内のメーカー
切削工具技術の海外ライセンス(検討)	プロジェクト全般指導	愛知県内のメーカー
粉体の空送技術に関する指導	技術指導	愛知県内のエンジニアリング会社
リスクアセスメント(FMEA/LOPA)の指導	全般指導	東京都の大手化学メーカー
三重大学と公益社団法人日本技術士会中部本部との包括的連携協定	調整役	公益社団法人日本技術士会
公益社団法人日本技術士会 全国大会愛知 四部会合同見学会の主催	部会長として主導	公益社団法人日本技術士会
公益社団法人日本技術士会 その他各種行事の主催や支部・委員会運営等	後述の役目として成就	公益社団法人日本技術士会
その他、工場・プラントの生産性向上、省エネルギー、安全・環境・品質技術、リスク管理、危機管理など、実績多数		

## 【大学講師】

国立大学法人 三重大学 (非常勤講師:2022年度～)	工業化学概論	2022年度後期 90分×8コマ 2023年度後期 90分×8コマ 2024年度後期 90分×16コマ(予定)
	応用化学特別講義Ⅲ	2024年度前期 90分×8コマ(予定)
	実践企業学	2025年度：大学院生向け(予定)
大阪公立大学 (非常勤講師:2024年度～)	化学工学序論	2023年度後期 90分×1コマ 2024年度後期 90分×2コマ(予定)
	エンジニアのキャリアデザイン	2024年度後期 90分×1コマ(予定)
東洋大学	化学産業論	2022年度後期 90分×1コマ 2023年度後期 90分×1コマ

## 【セミナー講師、講演】

化学プラントの基本設計（入門編）	半日セミナー
化学プラントの基本設計（法規編）	半日セミナー
化学プラントの基本設計（設計編）	1日セミナー
「プラント基本設計」に関する研修(流動・ポンプ)	三重県庁外郭団体主催研修
「工場・設備の投資採算性」	講演:公益社団法人主催
「工場・設備の投資採算性の考え方と評価法」 (財務三表の基礎知識と投資採算評価手法)	半日セミナー
「設備の投資採算性」(含、財務三表の基礎知識) 《WACC、Pay-Back法、NPV法、IRR法》	半日セミナー
「設備の投資採算性」	講演:公益社団法人主催
プラント安全管理の実務	半日セミナー(予定)
「化学物質の規制と自主管理」	講演:公益社団法人主催
「リスクアセスメント FTA・ETA」	半日セミナー
「リスクアセスメント:FTA・ETA・HAZOP・LOPA・FMEA」	1日セミナー
「人と技術は世を変える（オランダ農業と二酸化炭素循環を題材に）」	講演:公益社団法人主催
「社会の知力を高めるために」(人材育成論)	講演:公益社団法人主催
「技術者が学ぶ憲法」(3回シリーズ)	講演:公益社団法人主催(3回)

## 【書籍・雑誌の執筆】

【書籍】「製造業における化学物質の環境・安全・品質管理の手引(共著)」	書籍 (新日本法規出版:2023年6月23日発行)
【代表論文】「社会の知力を高めるために」 (人材育成論)	月刊技術士 2019年4月号 : (公益社団法人日本技術士会)
【コラム】「人と技術は世を変える」 ～オランダ農業と二酸化炭素循環を題材に～	月刊プラスチック 2023年7月号 (日本工業出版)
【論文】「プラント安全管理の実務」	配管技術 2024年3月増刊号 (日本工業出版)
【記事】「技術士のさらなる活性化と評価度の向上 (中部本部化学部会の紹介)」	技術士ちゅうぶ 2021年 第7号 (日本技術士会)
【記事】 会長表彰を受けて	技術士ちゅうぶ 2021年 第8号 (日本技術士会)
【記事】「工場・設備の投資採算性」	技術士ちゅうぶ 2022年 第9号 (日本技術士会)
【記事】三重大と連携協定を締結	技術士ちゅうぶ 2022年 第10号 (日本技術士会)
【記事】三重県支部 年次大会	技術士ちゅうぶ 2023年 第12号 (日本技術士会)
【記事】化学・金属・繊維・資源工学 四部会合同見学会・専門部会』へのご案内	公益社団法人日本技術士会 全国大会誌 (2023年11月開催)
【記事】化学・金属・繊維・資源工学 四部会合同での見学会と軽い部会	技術士ちゅうぶ 掲載予定 (日本技術士会)

## 3. 職務・職歴・表彰・学位

### 【現在の職位】

- 池田和人技術士事務所 代表
- 国立大学法人三重大学 工学部 非常勤講師
- 大阪公立大学 工学部 非常勤講師
- 公益社団法人日本技術士会  
中部本部 副本部長 (三重県支部 支部長 / 中部本部 研修委員会 委員長)  
化学部会 副部会長 (中部本部 化学・金属・繊維部会 部会長)
- 大阪公立大学 百舌鳥化工会 会長 (化学工学科 同窓会 会長)
- 愛知県商工会連合会 経営・技術強化支援事業に係るエキスパート登録者

### 【職歴】

2022年3月～	池田和人技術士事務所	代表
2024年4月～	大阪公立大学 工学部	非常勤講師
2022年4月～	国立大学法人三重大学 工学部	非常勤講師
2023年7月～	公益社団法人日本技術士会	中部本部 副本部長 三重県支部長 / 中部本部 研修委員長 化学部会 副部会長 中部本部 化学・金属・繊維部会 部会長
2022年11月～	百舌鳥化工会 (大阪府立大学 化)	会長

	学工学科 同窓会)	
2022年4月～	愛知県商工会連合会 経営・技術強化支援事業に係るエキスパートに登録	エキスパート
2021年9月～2022年4月	有限会社ETIC	合成ゴム(S-SBR)の海外技術ライセンス
2011年3月	「技術士(総合技術監理部門)」に登録	「5つの管理」を主とする部門(経済性管理・人的資源管理・安全管理・情報管理・社会環境管理)
2010年3月	「技術士(化学部門)」に登録	選択科目:化学装置及び設備
2003年9月～2006年9月	JSR Micro Korea Co.,Ltd.(JSR株式会社から出向)	工場立地検討、工場設計、建設採用、立上げ、製造統括
1992年5月～1995年5月	JSR-Shell Elastomer 株式会社(JSR株式会社から出向)	熱可塑性エラストマー SBS/SIS 合成ゴム(IR)の生産
1992年4月～2021年6月	JSR株式会社(旧日本合成ゴム株式会社)	プラント設計、建設、生産技術 プロセス開発、海外技術ライセンス 生産性向上・コストダウン、品質改善 新事業探索、ISO9001/14001 その他、SQCDE 業務
1992年4月	日本合成ゴム株式会社に入社	(現在のJSR株式会社)
1992年3月	大阪府立大学大学院 工学研究科	博士前期課程 化学工学専攻 修士
1990年3月	大阪府立大学 工学部	化学工学科 学士
1984年3月	愛知県立岡崎北高等学校	卒業

#### 【表彰】

公益社団法人日本技術士会『会長表彰』[2021年6月]

#### 【学位】

1992年3月「大阪府立大学(現在の大阪公立大学) 大学院 工学研究科 化学工学専攻(修士課程)」を修了。  
(2022年4月に、大阪府立大学と大阪市立大学が統合され、『大阪公立大学(公大)』になりました。)

## 4. 保有資格・所属学会

#### 【保有資格】

技術士(化学部門)／技術士(総合技術監理部門)／エネルギー管理士／公害防止管理者(大気一種)  
高圧ガス保安管理者(甲種化学・甲種機械)／危険物取扱主任者(甲種)／化学工学技士

#### 【所属学会】

公益社団法人 日本技術士会 / 公益社団法人 化学工学会  
化学物質管理研究会 / 化学物質管理士協会 / 中部産業遺産研究会 / 分離技術会